

# 第23回国労東日本マラソン大会

個人は横内選手(盛岡)が優勝、駅伝でも盛岡地本チームがV! 開催!



国労東日本本部は、11月10日に第23回マラソン大会を皇居外周で開催し、若手から年配の方まで、幅広い年齢層のランナーが激走を展開しました。

個人5キロマラソンは、横内選手(盛岡)が優勝を果たし、9チームのエントリーで競われた駅伝レースでは、若い選手達の力とベテランの味が噛み合い、長野Aチームの6連覇を阻んだ盛岡地本チームが優勝しました。

今号は、①第23回東日本本部マラソン大会、②各地方本部委員長・書記長会議、③東日本運輸協議会第30回定期委員会の報告とします。

## 個人5km マラソン成績

1位	盛岡	横内 悠人	北上保線技術センター	19分18秒
2位	新橋	鈴木 博文	蒲田駅	19分39秒
3位	神奈川	松浦 功	横須賀駅	19分59秒
4位	千葉	名雪 勝男	習志野運輸区	20分19秒
5位	神奈川	伊藤 康明	横須賀線分会家族	21分23秒
6位	仙台	武田 和也	家族	21分46秒
女性1位	仙台	小川 葉月	女性	30分03秒



## 駅伝マラソン成績

- 1位 盛岡地本チーム 1時間15分03秒  
(佐藤賢哉・吉田雅美・黒井恒夫・小林昌樹・阿部和宏・横内悠人)
- 2位 国労高崎チーム 1時間19分20秒  
(齋藤弦太・小野寺一雄・檜野皮謙・櫻井功・柳川順哉・柳川将輝)
- 3位 国労長野Aチーム 1時間21分24秒  
(徳武雄一・小林将巳・平林芳一・景井英一・松本俊文・柳原昭治)

## 駅伝・区間賞

- 1区(5km) 国労高崎チーム 齋藤 弦太 15分43秒
- 2区(2.5km) 千葉地本チーム 吉野 圭祐 7分51秒
- 3区(2.5km) 国労長野Aチーム 平林 芳一 10分04秒
- 4区(2.5km) 盛岡地本チーム 小林 昌樹 8分18秒
- 5区(2.5km) 国労高崎チーム 柳川 順哉 8分36秒
- 6区(5km) 盛岡地本チーム 横内 悠人 18分56秒



今大会も、東京走友会・NRUハムクラブ・東京地本のご協力が無事終了しました。紙面を借りてお礼を申し上げます。  
※詳細な記録については、ホームページにて掲載しています。



(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5 交通ビル  
国労東日本本部  
発行責任者 大沼 元  
編集責任者 樋口孝重

No. 813 定価 20円

2018年

11月30日

職場の矛盾 仕事の不満  
国労に結集し  
みんなで相談 解決へ

QRコードからでも閲覧できます  
<http://www.e-nru.com/>

**各地方本部 11月14日**  
**委員長書記長**  
**会議開催!**



11月14日、東京地本会議室において、各地方本部委員長・書記長会議を開催しました。

会議は矢部副委員長の挨拶で始まり、大沼委員長は、①今会議の目的、②政治情勢と課題、中間決算とJR東日本の手当回答、④JR貨物の交渉経過、⑤全国大会で確認した「次世代に引き継ぐ5年ビジョン」を基に日本の実行計画を策定し、組織拡大に全力を挙

げる。などの課題に触れ、挨拶しました。

伊藤書記長から、①年末手当獲得の闘いについて、②協約改訂・労働条件改善の取り組み、③組織強化・拡大の取り組みについて提起を行った後、各グループ会社における年末手当交渉の状況報告を受けました。

全体交流の中では「労働間の取り扱いに関する協約が改訂されて、説明委員が減らされた。経協が提案になると、その性格が違ってくる。労働組合を軽視しない事を改めて申し入れてほしい」「エルダー制度の短日数勤務が反映されていない職場がある。出向先の提示も遅れている」「エルダー制度のアンケート調査を取り組んでいる。乗務員制度の勉強会も行っていい」「台風24号で計画運休がされた。乗務変更による補償問題や、委託社員による架線に付着したビニールの取り外しの指示など多くの問題が発生した。東日本本部としての考え方を社会的に示す

べきである」と各地方の特徴点の報告や要請が出されました。



**運転協議会**  
**第30回**  
**定期委員会**  
**10月12日を開催!**

国労東日本運転協議会は10月12日、大宮地区本部会議室において、第30回定期委員会を開催しました。

委員会は保科事務長の司会で始まり、座長には東京運車協選出の落合委員が選出されました。

長谷川議長より、「『職場代表者選挙』が多くの職場で行われ、国労組合員が職場代表になったところ、組合員数以上の得票を得た職場も多くあった。そこに自信と確信を持ち、組織拡大に取り組み。乗務員勤務改正が提案され、行先手当に代わって深夜早朝勤務手当が乗務員対象となるが、地方などでは手当の削減が出てくる。ダイ改交渉での問題提起を準備してもらいたい。検修職場での技術継承もうまくいかない状況。安全な車両の提供という点から、両の提供という点から、検証が求められる」と挨拶がされました。

来賓として工作協・小野議長より「公募制研修などで、職場では要員不足。エルダー制度改正も、技術継承もできない状況。同じ車両メンテナンスを行なう仲間として、安全な車両の提供に向け、運転協の皆さんと取り組んでいきたい」と連帯の挨拶を受けました。

その後、武田組織部長が、組織現状の報告、国労を取り巻く情勢と今後の取り組み・課題について提起を行い、各地方から組織の現状と課題の報告を受けました。

最後に、当面する組織拡大に向けた取り組みの再強化について、全体で意思統一をし、会議を終了しました。

東日本本部・矢部副委員長からは、「多様な働き方などを理由に、乗務員勤務の見直しは26年ぶりに提案され、会社としても重要な制度見直しとなっている。運転協の皆さんと要求を整理して本社交渉を行った。要員はそのままで制度を見直すしわ寄せとして労働強化に繋がる制度改正については、問題点を検証し、引き続き運転協の皆さんと取り組んでいきたい。検修関係においても、モニタリング保全体制が導入されたが、安全面から見て問題がある。今後の経緯を見ながら、必要に応じて会社に申し入れなどを行っていききたい。組織拡大は最重要課題。運転協の中でも組織拡大の取り組み強化をお願いしたい。労働条件・安全問題・外注化・技術継承な

どの問題でもすべての職種で要員不足が大きな原因の一つになっている。要員不足解消に向けた取り組みを強化していく」と挨拶を受けました。

そして長谷川議長より経過報告・活動方針(案)、保科事務長より決算報告、予算(案)の提起が行われ、質疑応答に入りました。

各委員より、「東労組瓦解による地方での状況、エルダー制度見直し後も、本人希望とは違う職場への発令、エルダー先との交渉の場の必要性、アスベスト健康手帳取得に向けた取組、技術継承不足による、事故やミスの増加、列車妨害の多発に対する国労としての取り組み、組織拡大に向け、気軽に取り組むことの重要性、他労組組合員やプロパー社員との交流などの

報告」など、各地方より、1年間の活動報告も含めた発言がされました。

長谷川議長の「運転協議会として、各委員より出された意見を今後1年間の活動に生かしていく」とのまとめを受け、満場一致で活動方針、予算が確立されました。

最後に、長谷川議長の力強い団結ガンバローを全員で唱和して終了しました。

**アフラック**  
**最新のがん保険、新登場。**  
 アフラック Since 1974  
 はじめてダック

通院・入院・抗がん剤・診断一時金  
 \NEW/  
**新**生きるための**がん保険** Days

女性特有のがんにも手厚い  
 \NEW/  
**新**生きるための**がん保険** Days

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)  
**アベニール株式会社**  
 TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822  
 〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

◎商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。  
 (引受保険会社)  
**アフラック**(アメリカンファミリー生命保険会社)  
 東京第二法人営業部  
 〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル17F  
 Tel.03-3344-1429 Fax.03-3344-4036  
 AF広宣課-2014-0044-1412506 8月25日